

1 基本目標 まちと商業の一体化

【施策の方向】 1 地域社会との連携強化

施策1 地域団体との連携事業の推進

事業名		◎地域が一体となるイベントの実施				
実施主体	商業団体	住 民	商工会議所	観光交流ビューロー	行 政	
	主体	主体	支援	支援	支援	
30 年 度	取組内容	一過性のイベントに終わらず地域と連携し店舗誘致等の形を残す取り組みをします。	事業者等が実施するイベント等に参加・協力します。	事業者等が実施するイベント等を企画又は支援します。	事業者等が実施するイベント等の運営協力、広報協力をします。	事業者等が実施するイベント等をPRします。
	達成状況	イベントの成果は果たすが本来の目的の成果は果たせず。	各イベントへの参加・協力を行った。	ふらっ灯バルを高砂・荒井地区で開催。宝殿駅前地区にてワンコインイベント開催。	朝ごぼん市などのPRに協力した。NFI・まちなかバルチケットの販売協力。	各団体が実施するイベント等のチラシを市内の公共施設に配布するなどPRを行った。
	自己評価	B イベントとして定着はしたがまちとの連携が成されていない。	A イベントが定着し、集客が増加した。	A 出店者数、集客数ともに目標は達成することができた。	A 目標通り支援を行うことができた。	A 公共施設への配布や、広報、市ホームページ等を使って十分にPRができた。
	今後の方向性	継続 自治会や他団体とも積極的に連携を進める。	継続 今後も事業者等が実施するイベント等に参加・協力する。	継続 市内各所にてイベント等の企画、支援を行っていききたい。	継続 商業者イベントが観光事業につながるよう支援を継続する。	継続 事業者等が実施するイベント等を支援していく。
	第三者評価	A				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				
総合戦略	商業の活性化 (◆商店街・商店の活性化イベント支援)					

事業名		◎空き家・空き店舗対策事業の実施				
実施主体	商業団体	住 民	商工会議所	観光交流ビューロー	行 政	
	支援	支援	主体	支援	支援	
30 年 度	取組内容	出店者が主体となる組織づくりが必要。	事業の推進に向けて協力します。	継続して、実施、協力をしていきたい。	ATP事業の推進に協力します。	空き家等を活用しやすい環境を構築するなど、支援策を検討します。
	達成状況	チャレンジショップ後の事業展開が厳しい状況。	物件の登録件数が少ない。	ATP会議10回開催H31.1～LINCに移行。	会議に出席し積極的に意見交換、問題提起等を行った。	空き家情報システムを導入するとともに宅建協会との協定締結や、支援施策として30年度から補助金制度を予算化した。(まちづくり部)
	自己評価	B 成果は見られない。	B 事業をもっと周知していく必要がある。	B 会議は定期的で開催し、新たにクリエイティブ産業の誘致に取り組みだした。	B 観光情報誌でのATP事業紹介などPRを行えなかった。	A まちづくり部とともに、空き家等の活用をはじめ、対策等について、一定の成果をあげた。
	今後の方向性	継続 ATP空き家バンクと協力し引き続き継続。	継続 今後も事業の推進に向けて協力する。	継続 引き続きLINCプロジェクトを継続します。	継続 継続して、推進に協力するとともに空家を活用した商店をPR。	拡充 空き家情報システムを活用した効果的な空き家活用を更に推進する。
	第三者評価	B				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				
総合戦略	空き家の利活用 (◆空き家バンクの情報発信強化、掲載物件の拡大、○空き家活用に対する支援) 空き店舗の活用 (◆空き家バンクの充実、◆空き店舗の活用への支援(起業支援、改修助成))					

1 基本目標 まちと商業の一体化

【施策の方向】 2 異業種・業態との連携推進

施策1 商業の新連携促進

事業名		◎共同事業の実施				
実施主体	商業団体	住 民	商工会議所	観光交流ビューロー	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
30 年 度	取組内容	あきんどマガジンやクーポンアプリ事業等を通し新たな業種、業態との連携を深めるなど、商業団体と連携して取り組みます。	新連携事業実施に協力します。	連携事業実施に向け企画並びに支援を行います。	新連携事業実施に協力します。	商店街と大型店などが共同して実施する事業に対し支援します。
	達成状況	あきんどマガジンは創刊から9回発行し新たな業種、業態との連携が取れた。	実施無し。	2市2町交流会を実施した。	マガジンの観光案内ページの作成に協力した。駅前案内所等に配置し、配布に協力した。	あきんどマガジンの配布に協力した。
	自己評価	A 今後、予算面やWEB活用など転換期かと。	C 実施無し。	B 高砂からの参加者が減少傾向にあり見直しが必要。	B 観光案内も含め、PRに協力できた。	B 連携事業の把握ができなかったため、支援等ができていない。
	今後の方向性	継続 より連携を広くしました個々との連帯を深め意見などを多く取り入れたい。	継続 今後も新連携事業実施に協力していく。	継続 2市2町会員大交流会は主管として実施する予定。	継続 今後も継続して、マガジンの観光ページ作成に協力する。	継続 支援の方法を検討し、積極的に実施する。
	第三者評価	B				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				
総合戦略	商業の活性化 (◆同業・異業種間との連携事業)					

2 基本目標 新たな個性の創出

【施策の方向】 1 個店の独自性の創出

施策1 個性ある個店づくり

事業名		◎既存商品の掘起し				
実施主体	商業団体	住 民	商工会議所	観光交流ビューロー	行 政	
	主体		支援	支援	支援	
30 年 度	取組内容	既存商品の発掘に加え新たな付加価値を付けよりクオリティーを高めます。		既存商品の研究を支援します。勉強会・講習会などの情報を提供します。	新たに、推奨品を募集し、認定品の広報活動に努めます。	既存商品の掘起しの支援やPRを行います。
	達成状況	観光協会と協力し推奨品の開発を支援。		観光ビューローの推奨品をイベント等にてPRした。	高砂市観光物産推奨事業を実施、広くPRした。	観光交流ビューローと協力、連携しPR等を行った。
	自己評価	A 観光協会の事業に協力した。	(S・A・B・C)	A 観光推奨品のブースを設けるなどPR活動を行うことが出来た。	A リニューアルHPでの物産品紹介ページ作成、物産展開催、新聞での広告など様々な事業を実施した。	A 観光交流ビューローと連携し、高砂市観光物産推奨品事業への協力、各種イベントを通してPRができた。
	今後の方向性	継続 個店に対し提案や協力をしていきたい。	(拡充・継続・縮小・廃止)	継続 今後とも継続して観光推奨品のPRを積極的に進めていきたい。	継続 今後も広くPRにつとめるとともに、高砂の個性的な特産となるよう支援する。	継続 観光交流ビューローと連携し、商品の掘り起し、販路開拓に向けたPRを行う。
	第三者評価	A				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				
総合戦略	商業の活性化 (◆市内商店の高付加価値化、個性のある個店づくりへの支援)					

【施策の方向】 2 魅力ある商業地の創出

施策1 商店街の活気づくり

事業名		◎ポイントサービス等の実施				
実施主体	商業団体	住 民	商工会議所	観光交流ビューロー	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
30 年 度	取組内容	あきんどクーポンマガジンを年2度発行アプリとも連動しより内容の充実を検討します。	にこにこポイント制度の促進に向け協力します。	にこにこポイントカード普及並びに利用促進に協力します。	実施に向けて支援します。	にこにこポイント制度導入に伴い電子マネーカードを導入する市内商店の支援策を検討します。
	達成状況	あきんどマガジンは9号まで発行。	にこにこポイント制度実施に協力した。(WAONカード作成、ポイント付与事業への参加)	にこにこポイントカードの利用が少ない。	イベント配布用観光誌袋へクーポンマガジンを封入し、多くの人に、手に取っていただけるよう協力した。	にこにこポイント取扱い店が26店舗となった。
	自己評価	A 利用者にとってのメリットをより考える必要がある。	A WAONカード作成やポイント付与事業への参加を行った。	B にこにこポイントカードの利用促進に協力していく。	B 幅広く、配布できるよう協力する事ができた。	A ポイントカードは想定どおり発行されている。
	今後の方向性	継続 予算と活用面の課題解決。	継続 にこにこポイント制度の促進に向け協力していく。	継続 にこにこポイントカードの利用促進に協力していく。	継続 支援活動を継続する。	継続 今後もポイント取扱店を増やすとともに電子マネーカード導入のPRを行う。
	第三者評価	A				
短・中長期の別	中長期的施策	実施年度 (平成26年度～平成31年度)				
総合戦略	商業の活性化 (○市内商店への電子マネーカード制度の導入支援)					

3 基本目標 可能性の追求

【施策の方向】 1 創業（開業）支援

施策1 創業に役立つ情報発信の充実

事業名		◎創業者向けセミナー等の充実				
実施主体		商業団体	住 民	商工会議所	観光交流ビューロー	行 政
		支援		主体	支援	支援
30 年 度	取組内容			創業塾、個別相談を継続的に実施予定。	観光事業の創業について支援します。	創業者向けセミナーをPRします。
	達成状況			創業塾、個別相談実施。（参加者13名、個別相談8名） 女性向け創業セミナー（7回実施）	実施無し。	創業塾のPRを行った。
	自己評価	(S・A・B・C)	(S・A・B・C)	A	C	B
	今後の方向性	(拡充・継続・縮小・廃止)	(拡充・継続・縮小・廃止)	継続	廃止	継続
	第三者評価	B				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				
総合戦略	創業（起業）支援（◆若者、女性向け創業支援）					

【施策の方向】 2 商業者育成の推進

施策3 後継者の育成

事業名		◎まちづくりワークショップ、勉強会等の開催				
実施主体		商業団体	住 民	商工会議所	観光交流ビューロー	行 政
		主体		主体	支援	支援
30 年 度	取組内容	まちづくりワークショップ等を開催します。		まちづくりワークショップ等の開催に協力します。	まちづくりワークショップ等の開催に協力します。	まちづくりワークショップ等の開催支援を行います。
	達成状況	参加者減少の事業もあるが、開催は継続した。		兵庫大学が、連携協定により商店街活性化についてのワンコイン講座を実施。	実施なし。	商業団体や商工会議所等が開催するワークショップ等をPRした。
	自己評価	A	(S・A・B・C)	A	C	B
	今後の方向性	継続	(拡充・継続・縮小・廃止)	継続	継続	継続
	第三者評価	B				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				
総合戦略	地域づくり・人づくりの支援（◆まちづくりリーダーの育成）、空き店舗の活用（◆まちづくりリーダー養成）、商業の活性化（◆後継者育成への支援）					

4 基本目標 魅力を活かす

【施策の方向】 1 まちの魅力活用

施策 魅力活用の推進

事業名		◎（商店街を活用し）高砂の魅力を活用したイベントの実施				
実施主体	商業団体	住 民	商工会議所	観光交流ビューロー	行 政	
	主体	支援	主体	支援	支援	
30 年 度	取組内容	商業施設等を活かしたイベントを商業団体や行政と協力し、開催します。	イベントの実施に向けて協力します。	商業施設等を活かしたイベントを商業者と協力し、開催します。	イベントを実施した際にPRします。	イベントの実施に向けて支援します。
	達成状況	まちゼミの実施。	イベント実施時に参加。	高砂地区、荒井地区の両地区でふらっ灯バルを実施した。	たかさご万灯祭にあわせ、観光推奨品の物産展を実施、たかさごの魅力ある商品をPRした。	バルなどの実施に向け、市のHPや広報誌でイベントを紹介した。
	自己評価	B 一定の成果。	B イベント実施時に参加。	A 高砂地区、荒井地区の商店を知っていただく良い機会となった。	A 多くの方々に高砂の魅力ある商品を知っていただけるイベントとなった。	A バルなどの実施に向け、広報などで協力できた。
	今後の方向性	継続 規模の拡大。	継続 今後も実施時には協力していく。	継続 商業施設を知ってもらうためにもイベントの実施が必要である。	継続 今後も高砂の魅力を活用したイベントを推進、支援していく。	継続 商店街・商店の活性化のイベントを支援していく。
	第3者評価	B				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				
総合戦略	商業の活性化（◆商店街・商店の活性化イベント支援）					

4 基本目標 魅力を活かす

【施策の方向】 2まちの魅力発信

施策 PR活動の推進

事業名		◎マップ・情報誌の作成・配布				
実施主体	商業団体	住 民	商工会議所	観光交流ビューロー	行 政	
	主体	主体	主体	主体	支援	
30年度	取組内容	マップ・情報誌に店舗情報やイベント情報、観光案内等の付加価値加え掲載しPRします。	作成されたマップ・情報誌を活用しPRに協力します。	クーポン付情報誌（あきんどマガジン）を発行します。	マップ・情報誌の作成・配布をします。まちの案内所設置事業を実施します。	マップ・情報誌の作成・配布を支援します。
	達成状況	あきんどマガジン等の冊子市内全域に配布。	マップ・情報誌を活用し、市内各所やイベントをPRした。	あきんどマガジンを年2回発行した。	観光誌17、マップを作成、配布した。	情報誌の作成及びあきんどマガジンの発行・配布を支援した。
	自己評価	A 限定的であるが一定の成果はあった。	A マップ・情報誌を活用し、市内各所やイベントをPRした。	A 市内商店を知ってもらおうという効果が出てきている。	B まちの案内所事業については29年度繰越事業として30年度に工場見学実施企業に設置予定。	A 情報誌、あきんどマガジン発行・配布の支援ができた。
	今後の方向性	継続 紙媒体からWEB媒体への検討。	継続 今後も活用及びPRに協力していく。	継続 あきんどマガジンは、費用がかさむため新たな方向を考案していく。	継続 今後も観光パンフやまちなかMAPに店舗等の情報も載せ、PRに努める。	継続 今後も作成・配布を支援する。
	第三者評価	A				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				

事業名		◎ウェブサイトの活用				
実施主体	商業団体	住 民	商工会議所	観光交流ビューロー	行 政	
	主体	支援	主体	主体	支援	
30年度	取組内容	アプリ事業を今後SNS（FB, Line）などと連動も視野に取り組みたい。	ウェブサイトの情報を活用しPRに協力します。	店舗のお得情報を発信するためのクーポンアプリを継続していきます。	ウェブサイトを活用し情報提供します。	ウェブサイトを活用し情報提供します。
	達成状況	協議段階。	ウェブサイトの情報を活用しPRを行った。	協議段階。	Facebook、HPなどで積極的に広報につとめた。	市のホームページやFacebook、観光情報などを提供している民間サイトを活用し、情報提供した。
	自己評価	B 予算や活用面など課題も多い。	B ウェブサイトの情報を活用しPRを行った。	B 予算や活用面など課題も多い。	A 特にFacebookでの広報につとめたが、HPが未整理のままのため早急に整理を進める必要がある。	A 各ウェブサイトを活用し、イベントやまちの魅力をPRした。
	今後の方向性	継続 実施に向けた積極的な取り組み。	継続 今後も活用及びPRに協力していく。	継続 実施に向けた積極的な取り組み	継続 HPの内容の充実SNSの活用を進めて行く。	継続 今後もウェブサイトを活用し情報提供していく。
	第三者評価	B				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				

5 市内主要地区重点施策

(1) 銀座商店街周辺を中心とした高砂地区

【施策の方向】 高砂町の歴史的な街並みを活かすとともに交流の拠点となる商店街づくり

事業名		◎空き店舗等を利用した定期的なイベントの開催（朝市など）				
実施主体	商業団体	住 民	商工会議所	観光交流ビューロー	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
30 年 度	取組内容	商店街の再生に向け、商店街が協力して新たな出店等の取組みを促進します。	朝ごぼん市に子ども会など各種市民団体が参加できる機会を設ける取組みを行います。	兵庫大学との連携も含めた協力をさせていただきたい。	朝市開催に向けて協力します。	商店街・商店の活性化イベント支援。
	達成状況	定着し多くの出店者や集客が来た。	イベントのPRを行った。	兵庫大学も朝市に参加していただくことができた。	朝ごぼん市のPRをFacebookや広報誌にて積極的に実施した。	（銀座商店街）毎月第3土曜日の朝市開催に際し、PR及び駐車場の確保等を協力のした。
	自己評価	A ボランティアスタッフが不足している。	A 各回、多くの参加者が集まった。	B 兵庫大学が企画運営にも参加していただければより充実したものになるのでは。	A 朝ごぼん市のPRをFacebookや広報誌にて積極的に実施した。	A 朝市開催に際し、PRや駐車場の確保などの支援ができた。
	今後の方向性	継続 日常の商店街へのつながり。	継続 今後も協力していく。	継続 今後とも側面からできる限りの支援を行っていく。	継続 今後もPRを中心に支援する。	継続 商店街・商店の活性化イベントを支援する。
	第三者評価	A				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 （平成26年度～（平成28年度見直し）～平成32年度）				
総合戦略	商業の活性化（◆商店街・商店の活性化イベント支援）					

(2) アスパ高砂

【施策の方向】 文化と協調した新しい形態でのショッピングづくり

事業名		◎生活情報の発信の拠点づくり				
実施主体	商業団体	住 民	商工会議所	観光交流ビューロー	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
30 年 度	取組内容	生活情報を発信できる事業の企画、実施を検討します。	生活情報の発信に向けた取組みに協力します。	情報発信の場としてアスパ高砂を利用させていただきたい。	生活情報の発信に向けた取組みに協力します。	アスパ高砂に市役所の機能の一部が設けられるよう検討します。
	達成状況	セントラルコートで、社会貢献活動に繋がる54事業を実施できた。	生活情報に関するイベントやセミナーに参加した。	当所事業の情報発信の場として利用させていただいた。	実施無し。	市政情報を発信用の情報掲示板を活用したが、市役所機能の検討実施には至らず。
	自己評価	A 地域社会貢献ができた。	B 生活情報の発信源として利用した。	A 有効に利用させていただいた。	C 具体的取組なし。	B 他部署と協力して情報掲示板を活用できたが、機能の一部設置は出来ず。
	今後の方向性	継続 情報ソースの多様化。	継続 今後も利用していく。	継続 今後とも情報発信の場として有効に利用させていただきたい。	継続 他団体の事業などを広報誌やサイネージを活用し発信していく。	継続 市政情報発信掲示板の活用に努めるとともに行政サービスの提供に向けて検討する。
	第三者評価	B				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 （平成26年度～（平成28年度見直し）～平成32年度）				